

# 外科

## 1. 外科の理念・特色

豊岡市をはじめとする但馬地域の基幹病院として、消化器癌、乳癌などの癌に対する手術と術後の集学的治療を中心に診療を行っている。胆嚢胆管結石、各種ヘルニアその他の良性疾患の待機的手術を実施しているほか、緊急手術としては、外科通院患者が対象の緊急手術、院内及び院外からの直接外科の紹介された患者の緊急手術に特化して行っている。

最近では消化器癌に対しては、適応に応じて腹腔鏡下で手術を行うようにしており、現在、胃癌や結腸・直腸癌に対しては積極的に腹腔鏡下手術を行っている。

手術後の癌化学療法、フォローアップも外科で行っており、化学療法の大多数は化学療法専任看護師が従事する化学療法室で外科化学療法として行っている。

外科の外来診察は基本的に3診制で行っている。

なお、豊岡病院では、従来外科が担当してきた外科対象疾患の緊急手術の多くは救急集中治療科が行っているほか、胃癌、大腸癌で内視鏡的に切除が可能な早期癌については、消化器科が担当している。

## 2. 目標・プログラム

### ア. 目標とする医師像

専攻医が医師として必要な基本的診療能力と外科領域の専門的診療能力を習得することを目標とする。併せて外科医として知識・技能・態度と高い倫理性を備えることにより、患者に信頼され、プロフェッショナルとしての誇りを持ち、患者への責任を果たせる外科専門医となることを目指す。このために、外科領域全般からサブスペシャリティ領域(消化器外科、心臓血管外科、呼吸器外科、小児外科)またはそれに準じた外科専門領域(乳腺や内分泌領域)の専門研修を行い、それぞれの専門医取得へと連動するものとする。

### イ. 経験できる診療、技術

担当する分野:

#### **食道癌**

ガイドラインに従い、stage I の症例に対してはそのまま手術、stage II、III の症例に対しては術前化学療法(NAC)の後、症例によっては胸腔鏡を併用した根治術を行っている。また、切除不能症例には化学療法や化学放射線療法を行っている。

#### **胃癌**

ガイドラインに従い T2、N1 までは腹腔鏡下の手術を導入している。また、早期胃癌には機能温存手術を積極的に行っている。

一方、予後不良と考えられる高度進行胃癌を対象として、臨床試験として術前化学療法(NAC)を施行した後、手術を行っている。術後は、補助化学療法を stage II、III を対象に施行し、再発症例に対しても積極的に全身化学療法を導入している。

#### **大腸癌**

大腸癌には D3 廓清をとまなう腹腔鏡下手術を標準治療としている。一方で、局所進行直腸癌に対しては他臓器合併切除を含めた拡大手術を行い、術後化学療法を用いて予後の向上を図っている。下部直腸癌症例に対しては側方リンパ節廓清を定型的に行っている。

術後はエビデンスに基づいた補助化学療法に加え、進行・再発大腸癌に対しては最新の分子標的薬を併用した全身化学療法を標準治療として施行している。また切除可能な肺・肝転移に対しては積極的に手術を施行し、良好な治療成績を得ている。

#### **肝癌**

術前診断から治療まで消化器科と合同で治療戦略を立て、部位や個数、患者さんの肝予備能とのバランスから手術適応・術式を決定している。また、最近増加傾向にある転移性肝癌に対しては積極的に手術を施行し、良好な治療成績を得ている。

#### **膵臓癌**

膵頭部癌、十二指腸癌・乳頭部癌、下部胆管癌に対して定型的な膵頭十二指腸切除術を、膵尾部癌に対しては膵体尾部切除を施行しており、出血量の少ない安全な術式を確立している。

#### **急性胆嚢炎**

発症早期の症例には手術を原則としており、可能な限り腹腔鏡による手術を行っている。

一方、重症例にはドレナージを施術後、待機的に手術を行っている。

#### **鼠径ヘルニア**

症例に応じて腰椎あるいは膨潤麻酔下に Lichtenstein 法を、全身麻酔下に腹腔鏡下ヘルニア手術を行っている。

### 3. 週間予定

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日/日曜日
早朝	総回診		カンファレンス	総回診		休日 (病棟当番) (病院日当直) (講習会) (学会)
午前	手術 または 外来	手術 または 外来	手術 または 外来	手術 または 外来	手術 または 外来	
午後	手術 または 外来	手術 または 外来	手術 または 外来	手術 または 外来	手術 または 外来	
時間外	術前・術後 カンファレンス					

※外科の外来診療は3室で行っている。1診が初診外来で初診対応とその後の定期的経過観察、2～3診は術後のフォローアップ外来を行っている。

### 4. 指導医・スタッフ

副院長 坪野 充彦  
兼部長

出身 滋賀医科大学 S57  
京都大学医学博士 H7

専門	消化器外科, 癌化学療法, 内視鏡外科
認定	日本外科学会専門医・指導医, 日本消化器外科学会専門医・指導医, 日本臨床腫瘍学会暫定指導医, 日本がん治療認定機構暫定教育医・がん治療認定医

医長 和田 征大

出身 京都大学 H19  
京都大学医学博士 H30

専門	消化器外科, 一般外科
認定	日本外科学会専門医

専攻医 佐藤 洗希

出身 近畿大学 H30

専門	消化器外科, 一般外科
----	-------------

部長 内田 茂樹

出身 金沢大学 H2  
京都大学医学博士 H11

専門	消化器外科, 内視鏡外科
認定	日本外科学会専門医, 日本消化器外科学会専門医, 臨床研修指導医

医長 杉本 堯

出身 関西医科大学 H25

専門	消化器外科, 一般外科
----	-------------

第2部長 三木 明

出身 福井医科大学 H10

専門	消化器外科, 内視鏡外科
認定	日本外科学会専門医, 日本消化器外科学会専門医, 内視鏡外科技術認定医, 臨床研修指導医

医長 中村 大地

出身 佐賀大学 H25

専門	消化器外科, 一般外科
認定	日本外科学会専門医, 日本ボート協会医科学委員会スタッフ

医長 遠藤 真一郎

出身 鳥根医科大学 H9

専門	乳腺外科, 緩和ケア
認定	日本外科学会専門医, 日本乳癌学会認定医, 検診マンモグラフィ読影認定医師

医員 神部 宏幸

出身 京都府立医科大学 H27

専門	消化器外科, 一般外科
----	-------------

## 5. 診療設備等



・手術支援ロボット「ダヴィンチ(da Vinci Xi サージカルシステム)」米国インテュイティブ・サージカル社(2017年度導入)

## 6. 診療実績

・手術症例(1月～12月)

	2016年	2017年	2018年	2019年
全手術数	572件	544件	574件	579件
全麻手術数	415件	412件	465件	421件
腹腔鏡下手術数	208件	195件	228件	200件
緊急手術数	74件	78件	91件	112件

術式別手術件数 (うち鏡視下手術)	2016年	2017年	2018年	2019年
食道癌切除術	4件 (4)	1件	1件	1件
胃切除術	46件 (16)	49件 (31)	42件 (22)	28件 (8)
幽門側胃切除術	29件 (13)	36件 (27)	28件 (18)	10件 (6)
胃全摘術	17件 (3)	13件 (4)	14件 (4)	14件 (2)
大腸切除術	75件 (52)	72件 (49)	86件 (59)	73件 (53)
結腸切除術	61件 (43)	45件 (31)	69件 (44)	62件 (44)
直腸切除術	14件 (9)	27件 (18)	17件 (15)	11件 (9)
肝切除術	7件	10件	5件	7件
膵頭十二指腸切除術	5件	2件	3件	3件
乳癌手術	86件 (3)	83件	80件	77件
胆嚢摘出術	84件 (74)	85件 (61)	87件 (71)	93件 (74)
ヘルニア手術	115件 (21)	104件 (28)	131件 (36)	116件 (16)
虫垂切除術	18件 (15)	16件 (16)	20件 (20)	15件 (12)
小児外科手術(15歳未満)		9件	10件 (4)	22件
良性肛門疾患手術	14件	12件	8件	22件

## 7. 学会認定施設

- ・日本外科学会専門医修練施設
- ・日本消化器外科学会専門医修練施設
- ・地域がん連携拠点病院